

僕
もう

あんな大きな
闇の中だって

こわく
ない

きつと
みんなの

ほんとうの
さいわいを

さがしに
行く

どこまでも
どこまでも

僕たち一緒に
進んで
行こう



原作 宮沢賢治

ミュージカル

銀河鉄道の夜

台本 市川森一 演出 中村喙夫

音楽 甲斐正人 作詞 高橋亜子 声楽指導 岡崎亮子 衣裳 中本友子 照明 丸山成美 振付 鎌田真由美

美術/衣裳 朝倉 根

三島地域文化発信事業「ジャパンパフォーマンス」
(財)茨木市文化振興財団第65回公演

2006年

2/12(日)

15:00開演(14:30 開場)

茨木市市民会館

ユーアイホール・大ホール

茨木市駅前四丁目7番50号072-623-3962

全席指定席 A席3,000円/B席2,000円/65歳以上、18歳以下、障害者及びその介助者の方は1,000円引き

*1階席のみの販売です。 *就学前のお子様はご遠慮ください。

■発売日:11月8日(火) ■販売所:(財)茨木市文化振興財団072-625-3055

*発売初日から電話予約もお受けしますが、お席はおまかせいただきます。

*予約後は、1週間以内に財団窓口でご精算ください。

*予約チケットの郵送をご希望の場合は、<チケット料金+郵送料290円>を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお振替ください。

手数料はご負担願います。<振替口座>00970-7-190576/加入者名:財団法人茨木市文化振興財団

■その他の販売所:JA茨木市各店舗072-627-7762(本所総務課)/フミレコード 阪急茨木市駅前店072-626-3723

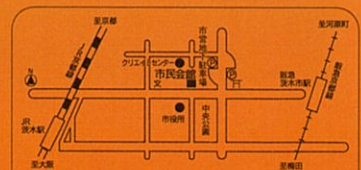
朝日野村北摂販売072-643-8424/チケットぴあ 0570-02-9999・Pコード予約 0570-02-9966(Pコード364-931)

ローンチケット0570-000-777・Lコード予約0570-063-005(Lコード:51856)*ぴあ、ローンは割引の取扱いはありません。

■主催・お問合せ:(財)茨木市文化振興財団 072-625-3055(月~金、8:45~17:15、土・日・祝日休業)

http://www9.ocn.ne.jp/ibabun/ 〒567-0888茨木市駅前四丁目6番16号クリエイトセンター1階

The 10th year
1996 — 2005



JR「茨木駅」から東へ、阪急「茨木駅」から西へ徒歩8分
茨木市役所北向い

わらび座

原作 宮沢賢治

ミュージカル

銀河鉄道の夜

ものがたり

1幕
100分
(休憩なし)

ジョバンニは、

病気のお母さんと二人で暮らしている。

お父さんは仕事で遠くに出かけたまま。

ジョバンニのクラスメイトたちは

いつも彼をからかうのだった。

ケンタウルス祭の夜、

落ち込んだジョバンニは

誰もいない暗い丘にたたずんでいた。

その時――

銀河ステーション：

銀河ステーション：

という不思議な声を聞いた。

ふと気が付くと彼は、

夜の軽便鉄道の車室に座っていた。

そして前の席には、青ざめた顔をした

カムパネルラも座っていた。

親友との旅に、

胸を躍らせるジョバンニ。

旅の途中で様々な人たちと出会い

別れていくうちに

ジョバンニとカムパネルラは

「ほんとうのさいわい」が

一体何なのかを考えはじめる。

それを探し出すために

どこまでも一緒に行くことと

誓い合うのだが――

二十一世紀ならではの「銀河鉄道」を

演出／中村喈夫

宮沢賢治という人は、遠い所をずっと見続けていた人だと思います。

銀河は遠い所ですし、鉄道は遠い所に行く為のものです。どうやらこの列車は、遠い死の国へ向かっているらしい。

この劇の始まりはケンタウルス祭の日ですが、祭というのは一年に一回しかありません。

この日が過ぎれば次まで遠い。人間は何かに憧れるものですが、身近なすぐ手に取れるものには憧れない。憧れるのは遠くなかなか手に入らないものでしょう。

「本当の幸せ」というようなものも手近にある筈もない。あるとすればはるか遠くにある。宮沢賢治という人はそれをずっと見守り続けていた人に違いない。その賢治の代表作をわらび座がミュージカルにします。

脚本はNHK大河ドラマ(黄金の日)などで全国の人々を感動させた市川森一氏。スタッフはあの「アテルイ」のメンバーです。透明感溢れる音楽と、力強いダンスがその憧れをくり広げるでしょう。美しい装置や照明が幻想的な空間を現出させるでしょう。そして二十一世紀ならではの、新鮮な銀河鉄道が間もなく走り始めます。



STAFF

台本	市川 森一
演出	中村 喈夫
音楽	甲斐 正人
振付	鎌田 真由美
照明	沢田 祐二 (わらび劇場)
	丸山 成美 (全国ツアー)
作詞	高橋 亜子
音楽指導	岡崎 亮子
衣裳	中本 友子
音響	栗城 恭子
小道具	平野 忍
演出助手	栗城 宏
音楽監督助手	紫竹 ゆう子
美術・衣裳	朝倉 摂

演出／中村喈夫(なかむら たかお)

1931年東京生まれ。1954年慶応義塾大学文学部卒業後、東宝撮影所助監督となる。黒澤明監督に師事。1962年に東宝演劇部へ移籍。菊田一夫氏に師事。1965年、演出家としてデビュー。以来、数多くの大劇場の演出をする。特にミュージカル系統の作品が多い。他にオペラ、オペレッタ、中・小劇場の新劇的作品など、幅広く演出活動を続けている。(現在、日本演出家協会監事、尚美学園ミュージカル科講師)

■代表作:「王様と私」(東宝劇場ほか)、「ラ・マンチャの男」(帝国劇場ほか)、「メリー・ウィドー」(二期会)、「その男ゾルバ」(コマ劇場)、「ファンタスティックス」(ジャンジャンほか)、「アテルイ」(わらび座)

■月刊ミュージカル最優秀演出家賞受賞(1998年)、菊田一夫演劇賞特別賞受賞(1999年)

